



第2回 ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト 実施報告

日時：令和2年11月14日（土）10:00～16:00
場所：兵庫県立工業技術センターセミナー室
受講者：35名

10:00～10:20 【第1回の振り返り】



<振り返りの様子>

10:20～11:00 【講義4】

「世の中は変わるのか？変えられるのか？」

講師：松村 亘 氏（トヨタ自動車株式会社 新事業企画部 主幹）

<内容>

講師が環境関連の仕事に携わった30年を振り返り、世の中の変化等から環境問題の解決につながるヒントを紹介。「環境の仕事は日常風景を一工夫で変えること」と参加者へエールを送った。



<講義4の様子>

11:20～12:00 【ワークショップ】

13:00～13:40 【講義5】

「兵庫県の温暖化対策」

講師：菅 範昭 氏（兵庫県農政環境部環境管理局 局長）

<内容>

兵庫県における気候変動の現状や将来の予測、国及び県の動き、兵庫県が策定時期を前倒して作成を進める「兵庫県地球温暖化対策推進計画」など行政の取組について紹介。



<講義5の様子>

13:50～15:45 【ワークショップ】



<ワークショップの様子①>



<ワークショップの様子②>

15:45～16:00 【第2回のまとめ】

<受講生の感想>

- 時代が変化したら、技術や人の考えが変わると思った。もっと可能になることもあると思った。企業や行政、国民が協力して意見を出し合えたら、よりよい社会になるのではと思った。
- 脱炭素に向けて、自分達の小さな意識を実行に移すためにどんなことをする必要があるか、そのどんなことの部分からアプローチしていきたいです。
- 「30年後の主役は自分たちだ」というのがすごく印象に残っていて、自覚がまだまだ足りなさすぎると感じたので、若い世代にどのように伝えるか、同世代の立場から考えていきたい。
- 一人一人が行動することが大切だということを伝えたい。行政や企業が環境に取り組むよりも、僕たち一人一人が買い物や選挙で環境のことを考えて選ぶことも大切だと感じた。